

あの時は...



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.406

2024(令和6)年3月11日(月)

原発事故から13年、「何事も学ばず、何事も忘れず」

これは昔、フランス革命を逃れて英国に亡命してきた王侯貴族たちが、新しい自由や平等などを学ばず、旧制度の甘い時代を忘れないことをイギリス人が揶揄した言葉です。福島第一原発事故から13年。現政権、電力会社、原子力ムラも、事故からは何事も学ばず何事も忘れていません。

<東日本大震災・東京電力の原発事故から13年>

あの時のこと 教訓として活かされているでしょうか...

南相馬市民にとって決して忘れられない大震災と原発事故後の今を考えてみました

3.11は今も ① 津波犠牲者、震災関連死、震災関連自殺者のこの多さ

統計の数でなくひとりひとりの命を偲びながら... 昨年3月の統計で、南相馬市の津波犠牲者は636人(直接死525+死亡届111・全県は1614人)、行方不明者87人(全県で196人)でともに県内最多です。また南相馬市の震災関連死も517人(全県で2335人)でなんと全国最多で、原発事故の過酷さや異常さを意味しています。また福島県の震災関連の自殺者118人(2011年~2020年)という多さです。

3.11は今も ② 小児甲状腺ガンは本当に「原発事故とは関連ない」のか

福島県内の小児甲状腺ガンは震災時18歳以下の38.5万人について調査し、2013年2月に10人が発表されて以来年ごとに増え続けています。昨年9月にガンとガンの疑いが328人で、うち275人が摘出手術を受けています。事故前小児甲状腺ガンは1年間に百万人に1~2人の発生でしたが、福島県も医師団も原発事故との因果関連を認めていません。現在19~29歳になった男女7人の患者たちは、2022年1月東京電力を提訴しています。また、成人の身近な方がガンで亡くなることも増えている気がしませんか。

3.11は今も ③ 原発はやはり、地震大国の日本では危険過ぎます

元日、能登半島の大地震で「志賀原発で震度7」の報道に福島第一原発事故の苦い体験を思い出したり、また震源地の珠洲市に原発建設の計画があったことに、「地震・火山・災害大国の日本では原発は危険すぎる、初めから避難路を確保だなんておかしい」と思った方も多いことでしょう。それなのに、2月の全国世論調査では原発の稼働賛成が50%です。本当に日本の原発は安全で必要なのか。

13年経っても事故の原子炉からデブリ880トンは1gも取り出せず、汚染水の海洋放棄は続き、「人的ミスで大量の汚染水漏れ」も起きて廃炉作業員の被曝も心配です。2011年3月11日19時03分政府は「原子力緊急事態宣言」を発令。いまだ発令中で「緊急事態」は続いています！

3.11は今も ④ 日本を救った「浪江・小高(棚塩)原発」の建設中止



「棚塩原発」建設予定地跡。事故の第一原発から北に10km、海岸段丘の全く同じ地形でした。(2015年3月6日撮影)

能登の「珠洲原発」と同じように、かつて浪江町棚塩と小高区にまたがる海岸線に東北電力の「棚塩原発」建設の計画がありました。反対同盟委員長の舩倉隆さんたちの地道な根気強い運動、「土地を売らない」という一貫した闘いで、ついに46年後の2013年建設中止に追い込みました。もしも建設され稼働していたら、福島第一原発以上の過酷事故で東日本は壊滅していたのではと報道されました。

3.11は今も ⑤ 相双地区の人口減少、学校の変動、児童生徒の激減

《裏ページの学校一覧表》は、南相馬市以南の旧避難指定市町村の人口や学校の状況です。

事故時と事故後13年の市町村人口の減少ぶり、小中高校の変動や児童生徒の激減の様子に驚くばかりです。自然災害なら住民も子どもたちも戻れるのに、原発事故の過酷さや罪深さ、陰湿さを象徴しています。壊滅のような相双地区の市町村は5年後、10年後にどうなっていくのでしょうか。

3.11は今も ⑤ 《南相馬市以南の原発事故・旧避難指定地域》 原発事故による人口減少、学校の変動、児童生徒数の激減ぶり

＜『福島県教職員録』2010年版・2023年版より＞

震災前、2010年4月1日生徒数		震災13年後、2023年4月1日の生徒数	
南相馬市	鹿島区 鹿島小317、真野小75、八沢小120、上真野小141、鹿島中324	鹿島小322、八沢小52、上真野小58 ⇒真野小(2014年に津波被災で閉校) 鹿島中267	
	原町区 原町一小598、原町二小327、原町三小538、高平小193、大豊小204、太田小135、石神一小187、石神二小487、原町一中503、原町二中307、原町三中170、石神中315 原町高校708 相馬農業高校332	原町一小345、原町二小196、原町三小398、高平小110、大豊小102、太田小46、石神一小64、石神二小338、原町一中321、原町二中181、原町三中64、石神中166 原町高校452 相馬農業高校239	
	南相馬市 人口 71,561人⇒56,248人		
	小高区 小高小392、福浦小105、金房小143、鳩原小65 小高中386 小高工業高校588 小高商業高校217	705人の4校を統合⇒小高小77 小高中42 工・商の2高校が統合⇒小高産業技術高校370 (小高区人口 12,842人⇒3,839人)	
飯館村	草野小153、飯樋小132、臼石小62 飯館中184 相馬農業高校飯館校88 人口 6,509人⇒712人	小中校531人⇒村立いいたて希望の里学園82(小48・中24・特支10)⇒相馬農業高校飯館校(福島市に避難、入学者減で2020年4月に休校)	
浪江町	浪江小558、幾世橋小122、請戸小93、大堀小157、荻野小174、津島小58 浪江中398、浪江東中179、津島中34 浪江高校315、浪江高校津島校53	6校1162人を統合⇒町立なみえ創成小学校38 3校611人を統合⇒町立なみえ創成中学校23 ⇒浪江高校・浪江高校津島校《休校》 人口 21,434人⇒2,162人	
葛尾村 かつらお村	葛尾小68 葛尾中44	葛尾小68人⇒12人 葛尾中44人⇒4人 人口 1,567人⇒312人	
双葉町	双葉南小192、双葉北小152 双葉中208 双葉高校469	(いわき市に避難中) 双葉南小12、双葉北小12、双葉中12 ⇒双葉高校《休校》 人口 7,140人⇒103人	
大熊町	熊町小333、大野小423 大熊中371 双葉翔陽高校341	小中校1127人⇒町立学び舎ゆめの森18(小14・中3・特支1) ⇒双葉翔陽高校《休校》 人口 11,505人⇒1,144人	
富岡町	富岡一小415、富岡二小521 富岡一中259、富岡二中291 富岡高校327	2校936人を統合⇒富岡小46人 2校550人を統合⇒富岡中21人 ⇒富岡高校《休校》 人口 15,830人⇒1,184人	
川内村	川内小112 川内中54 富岡高校川内校10(3年生のみ)	小中校166人⇒村立川内小中学園64(小42・中22)、⇒富岡高校川内校(生徒減で廃校) 人口 3,038人⇒1,815人	
楡葉町 ならは町	楡葉南小158、楡葉北小274 楡葉中255	432人の2校を統合⇒楡葉小132 楡葉中47 人口 8,011人⇒3,395人	
広野町	広野小311 広野中230	広野小146、広野中117 ⇒ふたば未来学園中学校180・ふたば未来学園高校413(双葉郡内の休校した5校に替わり、2015年4月に新しく開校) 人口 5,458人⇒5,279人	
集計	小学生7,842人⇒2,184人(28%)、中学生4,188人⇒1,232人(29%)、高校生3,448人⇒1,474人(43%)小・中・高校の児童生徒数は震災・原発事故前の33%に減小(市町村人口は現に住んでいる推定数。避難地と二重生活の人も多い)		
鹿島区を除く			